

「用意した広葉樹の苗は二千本。スタジイ、アカガシ、クヌギ、コナラ、エノキです。このたび完成した防災緑地に植える苗木が長い時間をかけて里山となり、広野町とそこに住む皆さまを守るとともに、コミュニティ再生の場となることを祈ってやみません」

福島県双葉郡広野町で先月六日に行われた「プレセント

東北復興日記

178



認定NPO法人JKSK
女性の活力を社会の活力に
理事長 大和田順子さん



樹の贈り物で地域再生

ツリーinひろの」の植樹祭

写真。

(第一回森の交流会)の開会式で、主催者の環境リレーションズ研究所理事長鈴木敦子さんがあいさつされました。

プレセントツリーは「人生の記念日に樹を植えよう!」を合言葉に、寄付で大切な人や自分自身のために記念樹を植え、森林再生と地域振興につなげるプロジェクト。二〇〇五年に始まり、国内は広野町で二十三カ所目、災害跡地や皆伐後植栽放棄地などに植栽しています。累計で十二万本を超え、今回のように防災

「広野わいわいプロジェクト」(復興庁・新しい東北先導モデル事業)昨年九月十一日の本欄で紹介)関係者や広野町民、首都圏から板橋区の市民によるNPO法人いた・エコ・ネットや、立教セカンドステージ大学卒業生らによるNPO法人コットンドリームいわきの皆さん、プレセントツリー支援企業の皆さんら約百二十人が植樹しました

緑地を活用した森づくりは初めての試みだそうです。広野の防災緑地では、今年九月までに十一杉に植樹が完了する予定とのこと。広野わいわい

プロジェクトでは、ほかにも広野町にぎわいを取り戻すために二ツ沼総合公園での定期的なイベント「パークフェス」や、綿やオリブを活用した商品開発が行われました。

広野町は双葉郡の復興をリードする地域ですが、プリチードや日産自動車、イオンなどの企業も応援しています。今後も市民や企業の参画による復興の応援は続きます。プレセントツリーの問い合わせは、環境リレーションズ研究所へ。電話03(5283)8143へ。

※この連載は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが協力して復興に取り組み「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。